

会 議 録

会 議 名	第 2 5 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 2 2 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 2 年 7 月 7 日（火）午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	学習室 B		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	川原美紀委員		
事 務 局 員	松本浩明主任、山崎敬広主任、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 公民館運営審議会（6 月 1 8 日開催）の報告 2 令和 2 年度講座について 3 第 2 6 期企画実行委員の募集結果について 4 各講座の計画 〔計画〕高齢者学級「けやき学級」、成人学校「江戸野菜に親しもう」、音楽鑑賞のつどい（仮称）オータムコンサート、市民講座「健やかな毎日のために 腸内環境を整える」 5 その他 なし 次回の日程 令和 2 年 8 月 5 日（火）午前 9 時 3 0 分～ 学習室 B		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（6月18日開催）の報告

（1）報告事項

ア 職員の異動について

館長：林（福社会館等担当課長へ）から小野（ごみ対策課長から）

職員：本館 倉澤（議会事務局へ）、落合（下水道課から）、山本（緑分館から）

緑分館 岡本（まちづくり推進課へ）、小磯（本館から）、高橋（貫井南分館から）、山崎（生涯学習課から）

貫井南分館 山崎（市民税課から）

イ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みについて

2月21日から主催事業の中止、3月27日から臨時休館に入り、6月3日に緊急事態宣言解除により一部制限付きで開館、6月17日には、東京都ロードマップがステップ3に移行したため、公民館利用の制限を一部緩和した。委員からは講座の定員削減により学習機会が減ることへの対応として、在宅でもできるオンライン講座参加の工夫を要望された。

ウ 都公連委員部会運営委員会について

令和元年度第12回（3月3日・小金井市公民館）、令和2年度第1回（4月22日・小平市中央公民館）、第2回（5月27日）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、メール等でのやり取りとなった。次回（第3回）は6月17日の予定。新年度新たな部会長は小平市、副部会長は日野市となる。東京都公民館連絡協議会当番市は、令和2年度研究大会課題別集会で小金井市が第2課題別集会、3年度は研究大会事務局となる。

エ 令和2年度公民館歳出予算について

全体的には前年度に対し33万7千円の減となっている。大きな理由として、昨年度、貫井南分館の工事があったこと、緑分館の生活日本語野外研修と取りやめ、同講座の講師料に編入したこと、企画実行委員の現地踏査がなくなったことが挙げられる。

オ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは、平成元年度実施の成人学校「江戸野菜に親しもう」、「編んで脳トレ！布ぞうり講座」、「防災クッキング“ポリパン®”～誰でも簡単！ポリ袋でパン作り～」を提出。

カ 小金井市公民館条例施行規則（緑分館宿泊部分）の改正について

年齢要件において、18歳以下の者で構成する5人以上の団体を宿泊する者の4分の3以上が小金井市民であり、かつ、5人以上の団体と年齢要件を撤廃した。

キ 新庁舎・（仮称）新福社会館建設基本計画（案）に対する意見及び検討結果について

意見募集期間が令和２年２月６日から３月５日、公民館に関する質問・意見は３件あった。委員からは、どの回答も担当課任せで、市としてのビジョンがないことが残念であったとの感想が出された。

(２) 協議事項

ア 小金井市公民館中長期計画について

公民館施設使用料の有料化について

- ・憲法で規定している基本的人権の一つである、すべての国民が等しく教育を受け権利を有する。(憲法第１１条、第２６条、教育基本法第４条)
このことから考慮し、経済的な理由等により教育の機会を失わないよう配慮する必要がある。
- ・これらを実現するために、教育基本法、社会教育法では、社会教育の実践の場として、公民館を位置付けているし、実活動をしてきた。(社会教育法第２０条)

上記のことから、公運審は従前どおり、無料を主張することとなった行政としては、行財政改革の観点から一部有料とすることも視野に入れて検討する。

(３) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からは、成人学校「江戸野菜に親しもう」、高齢者学級「けやき学級」、成人学校「書に親しむ」を提出。

(４) その他

- ・公民館職員の育成方法について、一度説明をしてもらいたい。
- ・研究大会（町田市会場）はオンラインでも開催したいと考えている。７月１５日に実施可否について決定する。

２ 令和２年度講座について

新規講座（案）として、成人学校（４回分）では、ア．「水引きを作る」、イ．「ＫＤＤＩスマホ・ケータイ安全教室」（自治体主催向け・無料）、ウ．「ちぎり絵」、子ども向け講座としてエ．「恐竜のはなし」、オ．「ＺＯＯＭで旅行」、カ．「手縫いでできるあずま袋」、コロナ禍、家で簡単にできるキ．「折り紙」、エコバッグ関連でク．「風呂敷の活用術」の案が出され、ア、イ、ウ、エ、オを実施予定、今後、開催時期、具体的な内容等について調整を行う。その中で、「恐竜のはなし」では、講師として東京学芸大学准教授を招聘したいところであるが、場合によっては群馬県立自然史博物館または群馬県神流町にある恐竜センターの学芸員を講師とすることも視野に入れて進める。また、ＺＯＯＭで旅行については、公民館ＩＴサポートのＷｉ－Ｆｉが使用可能かの確認を行う。博物館については来年度以降の高齢者学級野外学習の候補として検討する。市民講座については、案として、ア．笑ンディングノート落語講演、イ．スポーツ栄養の必要性、エネルギーと糖の摂取が出され、アに決定した。イについては、講師候補して日本郵政女子陸上部管理栄養士にお願いするか大会協議サポー

ト等で多忙場合には他の講師も視野に入れて、来年度以降の開催も検討する。

3 第26期企画実行委員の募集結果について

6月16日（火）午後2時から調整会を実施し、貫井南分館に新たに女性1人の委員が7月21日から加わる事となる。まだ6人に満たない館が2館あり、今後、追加募集として8月4日（土）説明会、当月18日（火）に調整会を実施する。

4 各講座の計画

【計 画】

○高齢者学級「けやき学級」

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、通常の5月開催から9月開催となった。今回は、懇親会、班活動、野外学習の実施はなく、座学のみとなる。中には体験型の音楽、体操、ボッチャもあるが飛沫防止の徹底を行う必要がある。定員も40人から半数の20人に変更。市報8月1日号、月刊こうみんかで応募、8月7日を応募締め切りとし、同月12日には抽選を行う予定。密集を避けつつコミュニケーションのきつかけづくりとして、あえて班を4班作り、席も班毎に座ってもらうこととする。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

東京学芸大学環境教育施設農場の使用は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、現在、8月17日まで入校ができない状況である。7月3日にはスタッフミーティングを実施し、今後の進め方を検討した。春先に植えたジャガイモ、玉ねぎについてはスタッフのみで収穫を行う予定。

○音楽鑑賞のつどい（仮称）オータムコンサート

6月17日にスタッフミーティングを行い、定員を25人とした。7月17日（金）には東京学芸大学ウインドアンサンブルの学生と再度打合せを行う予定。また、小金井市ホームページでの動画配信の調整を行う。実施は9月27日（日）の予定。

○市民講座「健やかな毎日のために 腸内環境を整える」

ウイルス感染予防の関心が高まっている中、腸内環境を整えて感染に負けない身体づくりの講義として、10月10日（土）、17日（土）午前10時から正午に実施予定。講師は杏林大学医学部教授に依頼。定員を25人とする。市報9月15日号、月刊こうみんかん9月号で募集する。

5 その他 なし

次回の日程 令和2年8月5日（火）午前9時30分～ 学習室B